

関西大学 工学部 管理工学科

本学科は、工学部創立の2年後すなわち昭和35年4月に設立された。当初は、きわめて機械色が強く長年その尾を引いてきたが、近年ようやく看板どおりの管理および情報に関する学科としての内容を整えてきた。特に本年4月から三根久教授を迎えるにおよんで、その感が強い。しかし他大学同様、未だ大学院に管理工学専攻が開設されていないため、学生は機械工学専攻のなかで、管理工学の専修科目を修めているのが現状である。

研究室は、オペレーションズ・リサーチ(三根教授)、情報処理工学(久保井教授、江沢助教授)、システム工学(伊藤教授、冬木専任講師)、生産管理(中村教授)、品質管理(吉村教授)、人間工学(友田教授、堀井専任講師)

および経営労務(西岡教授)の7つが開設されている。

OR研究室では、保全をとまなうシステムの信頼性、保全性解析に関して得られた理論的成果の実際の個別システムへの適用、新規開発製品の信頼性的確な評価方法の開発、ならびにORの具体的な応用例に関して研究を行なっている。

情報処理研究室は、複雑で大規模な技術計算問題の精度・能率向上の系統的手法および記号処理技術を応用した数式の自動変形処理方式、さらに人工知能の基礎技術としての言語処理系および計算機ネットワークでの相互情報交換機能の研究を行なっている。

システム工学研究室では、生産工程全体にわたる計算

機援用技術、すなわちCAEの研究を行なっている。特に知識工学の手法を応用したインテリジェントCAD、および高級言語による生産ライン評価支援システム技術の開発に力点を置いている。

生産管理研究室はFAを管理にまで拡大したシステムの研究、精神疲労や志気に影響する心理時間に関する研究を中心に幅広く活動している。

品質管理研究室は、品質管理の基礎となっている総合的品質管理、特にTQCとその推進力をなす「働がいがい」の研究を行なっている。さらには有機的総合化ホロニックについての学説にも興味をもっている。

人間工学研究室は、視覚による目標物の探索、認識、記憶および判断過程を追及し、それらの機構の解明と人間・機械系への応用を図っている。特に移動視標に対する追従特性について、脳による眼球の制御モデルの作成に関する研究をしている。

経営労務研究室は、マイクロエレクトロニクス(ME)の生産、事務、流通部門に与える影響を研究している。具体的には、ME革命と仕事内

管理工学科

3 年 次 配 当				4 年 次 配 当			
授 業 科 目	単 位	授 業 期 間	毎 業 務 週 時 間	授 業 科 目	単 位	授 業 期 間	毎 業 務 週 時 間
専 門 教 育 科 目				専 門 教 育 科 目			
一必修科目一				一必修科目一			
生 産 管 理 論	3	2	2	外 国 書 講 読	1	1	2
情 報 数 学	3	2	2	特 別 研 究	6		
機 械 製 作 法	3	2	2				
品 質 管 理	3	2	2	一選択科目第1類一			
基 礎 数 値 解 析	3	2	2	応 用 数 値 解 析	3	2	2
オペレーションズ・リサーチ	3	2	2	制 御 工 学	3	2	2
労 務 管 理	3	2	2	情 報 処 理 工 学	3	2	2
人 間 工 学	3	2	2				
シ ス テ ム 工 学	3	2	2	一選択科目第2類一			
管 理 工 学 実 験 II	2	2	3	経 営 管 理 論	3	2	2
管 理 工 学 演 習	1	1	3	安 全 衛 生 工 学	1.5	1	2
				マ ー ケ ッ テ ィ ン グ 論	1.5	1	2
				工 業 法 規	1.5	1	2
一選択科目第1類一				特 許 法	1.5	1	2
多 変 量 解 析	3	2	2	産 業 経 済 史	1.5	1	2
設 計 工 学	3	2	2	環 境 保 全 工 学	1.5	1	2
信 頼 性 工 学	1.5	1	2	生 産 工 学	3	2	2
実 験 計 画 法	1.5	1	2				
一選択科目第2類一							
作 業 研 究	3	2	2				
工 程 管 理	1.5	1	2				
原 価 管 理	3	2	2				

容、労働意識、およびMEと労使関係等について研究を行なっている。

学生の授業科目は、基礎科目の上に別表のごとき専門教育科目を課している。(伊藤郁男)

茨城大学 工学部 情報工学科

茨城大学は本部は水戸市にあります。現在、教養学部、人文学部、教育学部、理学部等がそちらにあります。工学部は日立市にあります。もよりの駅は常磐線の常陸多賀駅で、タクシーで15分のところにあります。前には太平洋が広がり、後は山が迫り、夏は涼しく、冬は暖かいという住み心地の良いところです。もっとも、どの土地も住めば都といいますが。

工学部は、機械工学科、同第二学科、電気工学科、金属工学科、工業化学科、精密工学科、電子工学科、情報工学科、建設工学科の9学科です。この他に工業短期大学部が併設されています。情報工学科は、昭和47年4月に発足しました。大学院は修士課程が昭和51年4月に設置されました。情報工学科は4講座からなっております。他に共通講座のサポートを受けています。科目の概要は、次の通りです。

〔情報基礎理論講座〕 情報基礎数学および演習、情報理論、グラフ理論、組合せ数学、算法設計法、オートマトン、制御理論。

〔計算工学講座〕 プログラミング概論および演習、プログラミング言語処理、オペレーティング・システム論、データ構造論。

〔情報処理技術講座〕 計算機工学実験、電子計算機、電気回路、電子回路、電子デバイス。

〔システム工学講座〕 システム工学基礎数学および演習、オペレーションズ・リサーチ、システム工学、統計解析。

〔共通講座〕 数学解析、数理統計学、物理学、物理学実

験。

日立地区には日立製作所、東海原子力研究所、茨城電気通信研究所等の名だたる企業があります。これら企業の専門技術者の方から直接最先端の講義を非常勤講師としてやってもらっています。

システム工学講座関連について少し述べますと、オペレーションズ・リサーチの講義については、最近システム工学の中の最適化理論として認識が高まり、他学科からも希望があり、学生数が増える傾向にあります。

システム工学講座や情報処理技術講座の大学院の講義や、研究で最近次第にコンピュータ通信ネットワーク関係が増えてきています。

当学科もようやく使用電子計算機設備の増強が進み、学生実習と訓練のため2人に1台、合計20台を一室に配置して教育の効率化がはかられています。また各研究室にも、ディスプレイ端末機が複数台設置され、TSS方式で、研究効率の向上がはかられています。

茨城大学をめぐる最近のトピックスとして、昨年米国のアラバマ大学とのあいだで大学間交流協定や学部間協定が締結されたことです。さっそく、今年1月から研究員が1名みえています。こちらの大学からも向うの大学院へ今年から1名いっております。当学科もいよいよ国際色豊かになり、昨年は大学院へ中国から2名、メキシコから1名こられました。またニュージーランドからも1名研究員がこられました。今年も後期から中国、韓国各1名こられることを予定しております。(大前義次)

雑誌 EJOR 購読者 募集のお知らせ

European Journal of Operational Research (EJOR)は、Association of European Operational Research Societies (EURO)とNorth-Holland出版社との共同出版によるもので、1986年はVol. 23-26が発行されます。

個人購入もできますが、当学会では割引価格でお取り扱いしています。

発行回数：年12回（4巻、12冊）

使用言語：英語

内容：あらゆる分野におけるORに関するすぐれた論文。

連絡事項として、lettersや新刊書（最近1年間のもの）の批評、短評（紹介）。

価格：17000円（送料込、1年間）。

お申し込みは、当学会までお知らせください。

（締切 11月30日）